

IV 遊歩道調査

1. 万年雪遊歩道

(1) 概 要

昭和52年銀山平第2キャンプ場がオープンした。(現在閉鎖中)

当時の第1キャンプ場から日本2百名山荒沢岳の下、中荒沢川の源流に大きな雪渓が見える。夏この雪渓までハイキングに行って、涼しさを味わうために、キャンパーのハイキングコースとして開設された。

夏の後半から初秋に遊歩道の終点に本城の滝(3段の滝)が現れる。その滝の上の雪渓はキャンプ場閉鎖後も残っていることから万年雪と名付けられた。

また、雪渓の残る範囲は標高900m程であるが、平成14年度に植生調査を実施した結果、植生は2000m級の高山植物がたくさんある貴重な場所であることが分かった。

平成15年度に旧湯之谷村の天然記念物(文化財)指定されている場所である。

(2) 遊歩道の現況

総延長：1.6Km

幅員：1.0m～1.5m

標高差：起点(中荒沢林道終点)886m、

終点(本城沢展望台)1005m 標高差≒115m

所要時間：約1時間。団体で1時間半。キャンプ場からは片道約2時間(団体)

歩道状況：幅広くきれいに草刈してある。

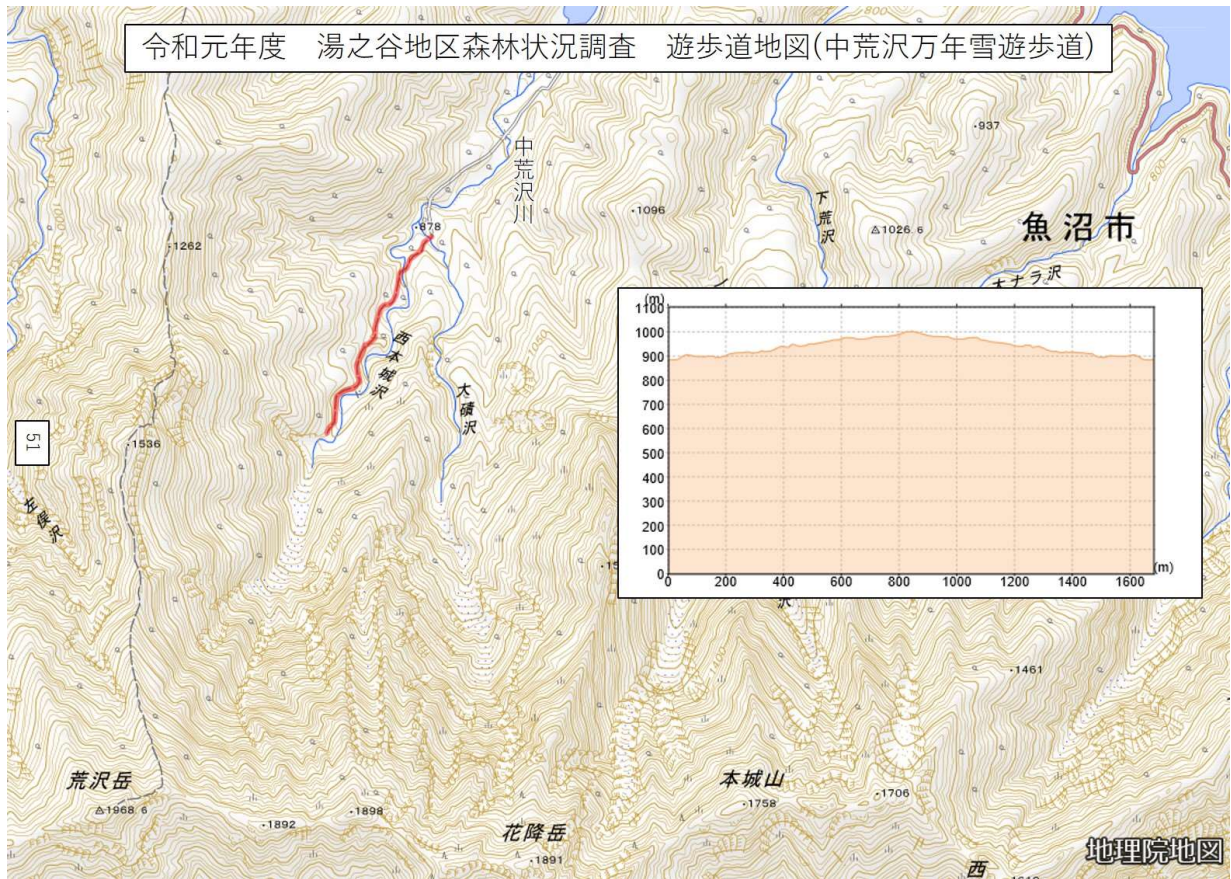
注意点：沢沿いの歩道のため、がけ下が危険な箇所がところどころある。

遊歩道というよりは、登山道の方が適切かも？(登山装備を進めたい)

展望：荒沢岳の岩場(地形…スノーシューター)が目の前にそびえ立つ

春…大雪渓、雪が消えたところから春の高山植物、夏から初秋…3段の本城の滝を目の前で見ることができる。

初秋には、春夏秋の花が一緒に見ることができる。



中荒沢万年雪遊歩道 起点



歩道幅員：1.2m～1.5m



中荒沢万年雪遊歩道 唯一橋（単管足場パイプ）



雪溪に降りてゆく歩道と雪溪